



秋の彼岸のヒガンバナ

野や道ばたにヒガンバナの花がいっせいに開きました。ヒガンバナは、秋の彼岸の頃、赤い花が咲くのでこうした名前がついていますが、日本各地でヒガンバナの名前はいろいろあります。秋の彼岸の頃に咲くことからつけられた名前や花の色からつけられた名前、それに花の形からつけられた名前などです。そのヒガンバナは、カレンダーによって花を咲かせたのではありません。「暑さ寒さも彼岸まで」ということわざがあるように、秋の彼岸の頃には夏の暑さがやわらぎます。野や道ばたに咲くヒガンバナは、暑い夏の気温が下がり、朝晩すずしくなるのを感じ、気温の変化によって、いっせいに花を開くそうです。



今年は9月に入っても厳しい暑さが続き、気温の高い日は運動会で遊べない日が何日も続きました。そんな時、高学年の子が低学年の教室で一緒に遊ぶ姿がありました。9月下旬になり、休み時間に運動場を駆け回る子どもたちの笑顔の花が咲いています。田んぼの稲穂の黄金の波の向こうにヒガンバナの花が風に揺れ始め、秋がやってきました。

秋は自然や社会や文化芸術に触れる感動体験の機会

9月には、3年生の環境体験学習、5年生の自然学校、そして、6年生の修学旅行と校外での学習の機会がありました。子どもの成長にとって自然や社会と深くかかわり、集団生活を行う学習体験は重要です。様々な体験を通して、自立性と社会性を学年に応じて身に付ける必要があります。環境体験学習と自然学校は兵庫県独自の「体験教育」です。秋には、他の学年も、地域の方々とかかわり、自然や社会や文化芸術に触れる「本物に出会う感動体験」の機会が様々にあります。日頃から地域ぐるみで子どもを育てていただいていた本校の強みを生かし、自然や人との様々なふれあいを通して共生の心を育てていきます。



3年生 環境体験「虫取り」



5年生 自然学校「カレー作り」



6年生 修学旅行「平和レモニー」

目標をもって自分を向上させる「チャレンジタイム」

秋と冬に2回、始業前の朝の時間を使ったチャレンジタイムを実施します。9月25日～10月13日までの3週間は、なわとびチャレンジです。運動場に3学年が集まり、音楽に合わせて、なわとび運動を行います。曲が流れると、最初に、まえとび、うしろとび、かけあしとびを行い、続いて、自分の挑戦したい跳び方で跳びます。二重とびやあやとびにチャレンジする子もいます。曲の間に一度も引っかけらずにとび続けることにチャレンジする子もいます。「絶対に無理!」とチャレンジする前からあきらめかけていた子も、友達に励まされ、少しずつ笑顔になっていきます。

体育ではボール運動やリレーが好きな子が多いでしょう。コツコツ取り組むなわとび運動は好きではないという子が多いかもしれません。それでも跳び終わると「何回跳べた?」などと声をかけ合い、競い合う姿が見られます。

10月16日(月)には、全学年が「なわとび大会」を行います。そこに向けて、各学年の目標設定はありますが、学校全体として取り組むのには、その他に一人ひとりが自分の目標をもってくじけずに努力し、自分を向上させようとするを経験させるねらいがあります。誰だって得意でないことやつらいことや苦しいことがあると、途中であきらめてしまいたくなるものです。そんな自分と向き合い、粘り強く努力して乗り越えることをチャレンジタイムの中で経験してほしいものです。目標をもって自分を向上させようと努力する子どもたちを応援してください。



《10月の主な学校行事予定》

日	曜	行事	日	曜	行事
2	月	クラブ活動(4, 5, 6年)	16	月	なわとび大会(予備日18日)
3	火	人権参観・講演会	18	水	児童朝会 放課後学習 がんばりタイム(3年)
4	水	朝会 3年陶芸体験(松・竹) 放課後学習 がんばりタイム(3年)	19	木	6年平和学習発表会 がんばりタイム(2・4年)
5	木	3年陶芸体験(梅・桜)	23	月	代表委員会
11	水	歯科検診 がんばりタイム(2・4年)	25	水	放課後学習 がんばりタイム(3年)
12	木	保幼小交流会(1年)	26	木	4年生有馬高校訪問
14	土	七ようまつり			

学級閉鎖等の臨時休業の学習について

全国的にインフルエンザと新型コロナウイルス感染症が流行しています。今後も感染拡大防止のために学級閉鎖等の臨時休業を行うことがあります。その際、タブレット端末を自宅に持ち帰り、オンラインによる朝の会や健康観察を行ったり、学習課題の配信や同時双方向型のウェブ会議システムを活用した学習指導を行ったりする場合があります。学年段階に応じて、学びを止めない取組を進めていきますので、ご協力をお願いします。